



This material is information that is available to the public.

1/27/2020 Tomoyuki.Namiki

協会のご紹介

当協会の目的

当協会は、セキュリティトークンの技術、制度、ビジネスに関して、調査、研究、普及・啓発活動等を通じて、セキュリティトークンの品質向上を図り、セキュリティトークンを用いたエコシステムの健全性の確保に努めるとともに、公正かつ自由な経済活動の機会の確保及び促進並びにその活性化による国民生活の安定向上に寄与し、日本経済の健全な発展に貢献することを目的とする。

“**セキュリティトークン
の知見を集約し、
セキュリティトークン
エコシステムの健全な
発展を中立な立場で
推進する非営利団体。**”

活動概要

法人会員（正会員・賛助会員）・個人会員（ゲスト会員）を中心としたセキュリティトークンコミュニティを運営

- 国内外の各種企業・団体・規制当局との意見交換
- クローズドな会議を連日開催
- 正会員を中心とした個別プロジェクトのファシリテーション
- 勉強会・ミートアップの開催
- Slack を活用した運営・会員間の交流の場を提供
- 会員総会（正会員・賛助会員）**第一回 9 月、第二回 11 月に実施**

正会員・賛助会員 意見交換例

2020/1/14に金融庁から発表があった、STO法令に関して、自社のビジネスに対する影響や、パブコメとして意見しない内容について、ご発言ください。

会員総会 意見交換例

最小購入価格が100円と100万円の2種類のSTがあるとして、これらはどのような証券でしょうか。両方もしくは興味のあるほうをお答えください。

※どういう形態でSTを発行したいか、現状の法規制と照らし合わせながら議論しましょう。

観点	100円から買えるST	100万円から買えるST
対象投資家層		
対象資産		
ライセンス		
仕組み		

プロフェッショナルファーム・金融機関等での業務経験を有し、ブロックチェーンにも精通したエキスパートによる運営。

代表理事： 並木智之（株式会社クニエ シニアマネジャー）

代表理事： 増田剛（株式会社クロスデジタル 代表取締役）

理事： 成木治男（TMI総合法律事務所 パートナー弁護士）

理事： 斉藤賢爾（一般社団法人ビヨンドブロックチェーン 代表理事）

理事： 増田一之（株式会社ブロックチェーンハブ 代表取締役）

監事： 榊正壽（元 EY新日本有限責任監査法人 シニアパートナー）

シニアアドバイザー： 北城恪太郎（日本アイ・ビー・エム株式会社 名誉相談役）

シニアアドバイザー： 川村嘉則（株式会社三井住友銀行 元副頭取）

アドバイザー： 河合健（アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士）

セキュリティトークン発行プラットフォームのリーディングカンパニーであるSecuritize（米）およびTokeny（ルクセンブルク）とパートナーシップ締結

- 海外の知見・先進ユースケース研究を目的
- ネットワーキングイベントを共催
- 共同でSTOに関するレポートを執筆（Securitize）



Securitize Inc. CEO他



Tokeny CEO他

Slack

STに興味がある集まりとして、日本最大規模

JSTA
一般社団法人日本セキュリティトークン協会

全会員
共通

正会員
賛助会員
1口2名

関連ニュースのピックアップ
イベント情報の配信
会員間のコミュニケーション
個別の打ち合わせ

1/24現在、142名

- Japan Security ...
- Tomoyuki Namiki
 - 会話を移動
 - # event
 - # general
 - # introduction
 - member_deloitte
 - member_diginex
 - member_fgi
 - member_growthship
 - member_hijojo
 - member_hurray
 - member_lifull
 - member_qunie
 - member tmi

#記事ニュースピックアップ

☆ | 👤 68 | ✨ 0 | トピックを追加

Go Masuda JSTA 12:10
<https://venturetimes.jp/interview/46292.html>

ベンチャータイムス

技術よりも人-革新を生み出す努力に魅せられ、ブロックチェーンメディア「Digital Asset Live」を運営 | ベンチャータイムス

VentureTimesは、セキュリティトークンに関する最新ニュースやインタビューなどをまとめた『STO Times』を常設している。セキュリティトークンやSTOの分野は海外で大きな注目を集めており、今後はさらに発展していこうと言われて...

9月3日 (194 kB)



今日

Tomoyuki Namiki 09:23

ブロックチェーンを活用したマネーマーケットファンド 米大手運用会社がSECに目論見書提出
<https://jp.cointelegraph.com/news/asset-management-giant-puts-government-money-market-fund-on-stellar>

仮想通貨・ビットコインのニュースサイト | コインテレグラフ ジャパン

ブロックチェーンを活用したマネーマーケットファンド 米大手運用会社がSECに目論見書提出

米国の大手運用会社フランクリン・templton・インベストメンツは3日、ブロックチェーンを活用したマネーマーケットファンド (MMF) を米証券取引委員会 (SEC) に提案した。MMFの購入記録をブロックチェーンに記録し、ファンドの透明性を高め、決済時間の

#記事ニュースピックアップ へのメッセージ

送信

会員コミュニティ (順不同：2019年12月26日)

正会員 6社

株式会社クニエ

グローシップ・パートナーズ株式会社

TMI 総合法律事務所

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

フィンテックグローバル株式会社

GVA 法律事務所

賛助会員 9社

株式会社フレイ・トラスト

株式会社 LIFULL

Diginex Japan 株式会社

HiJoJo Partners 株式会社

NTT テクノクロス株式会社

穴吹興産株式会社

ケネディクス株式会社

Wave Financial

株式会社アセットリード

不動産
ファンド
クラウドファンディング
コンサルティングファーム
法律事務所
IT

セキュリティトークン関連セミナー・イベントを主催するほか、金融・不動産業界の各種団体のイベントに登壇する等、気運の醸成に尽力。

- | | |
|----------|---|
| 2019年5月 | 協会発足（株式会社ブロックチェーンハブ創業支援プログラムにより） |
| 2019年6月 | Securitizeとミートアップイベント共催 |
| 2019年7月 | 設立記念セミナー（全4回）開催 |
| 2019年8月 | 国内企業を対象としたST意識調査実施
金融庁と意見交換開始
不動産証券化に関するパネルディスカッションを開催
セキュリティトークンに取り組む企業ピッチを開催 |
| 2019年9月 | 法令セミナーの開催
JSTA会員総会開始 |
| 2019年10月 | Securitizeとミートアップイベント共催
STキャッチアップ勉強会開始
JSTAコミュニティ発の不動産証券化実証実験開始 |
| 2019年11月 | Tokenyとミートアップイベント共催
セキュリティトークンセミナー（大阪） |
| 2019年12月 | 国内不動産市場に関するSTレポート公表 |
| 2020年1月 | STOに関する法令の意見交換会開始 |

- 運営委員会の発足
 - 技術（IT課題）
 - 制度（法・規制課題）
 - ビジネス（ビジネスモデル、ガイドラインの検討）
- 金融庁（及び国土交通省・法務省）に向けたパブリックコメントを策定
- ミートアップ、勉強会、各種団体協賛イベント等の開催継続
- JSTAコミュニティ発のプロジェクトの支援

STOの課題とJSTAの対応

- 国内におけるSTのメリットの確認
- 技術が未成熟
- 情報漏洩、ハッキングなどの事故リスクの高さ
- 費用対効果が不透明

PoC相談・
マッチング

- レピュテーションリスク (Scam ICOと同一視)
- 情報不足

ICOとの違いな
ど勉強会開催

- ガイドラインが存在しないことによる負荷

ロビー活動
金融庁・国土交通省

団体の比較

名称	動向	備考
日本仮想通貨ビジネス協会 (JCBA)	「新たなICO規制についての提言」について、と題し、金融庁等に提言 (2019.3.8)	仮想通貨交換事業者が主体。会員111社。
新経済連盟	ブロックチェーンWGにて、新経済連盟がブロックチェーンと暗号資産に関する要望を金融担当大臣ほか関係大臣宛てに提出(2019.7.30)	楽天が牽引。会員527社。
ST研究コンソーシアム	<u>MUFGが牽引</u> 。SecuritizeやLayerXが技術面のサポートを行う。不動産や社債、知的財産などをデジタル証券として取引するプラットフォーム。2020年度中の <u>サービス開始を目指す</u> 。11/6に設立	<u>MUFG陣営とKDDI陣営を中心にNTTなど20社超の大手企業</u>
日本STO協会	<u>SBI証券の北尾氏が主導して10/1に設立</u> 。 <u>STO認定自主規制団体を目指す</u> 。 議員連盟が参加していたセキュリティトークン事業者協会は引き継がれる形となった。	<u>証券会社中心・一項有価証券中心</u> セカンダリーマーケットの担い手 SBI、カブドットコム、大和、野村、マネックス、楽天
日本セキュリティトークン協会 (JSTA)	勉強会、パネルディスカッション、企業ピッチ、など、 <u>イベントを積極的に実施</u> 。プロジェクトのオブザーバーにもなる。 <u>Securitize、Tokenyと提携</u> 。 <u>エコシステムの拡大を目指す</u> 。5/27に設立。	会員15社。不動産、クラウドファンディング、法律、コンサル、ITベンダー等、ST業界に関連する <u>各種プレイヤーが加入</u> 。

会員の主なメリット

会員のセキュリティトークンビジネスが加速します。

×情報収集
○情報交換

正会員・賛助会員

- 金融庁（国土交通省等）とのコネクション強化
- 勉強会・イベント・金融庁ディスカッションなどの資料閲覧
- 協会活動（講演・ロビー活動・相談対応等）を通じた知見の獲得
- プロジェクトへの参画
- イベントへの優先招待

ゲスト会員

- 会員間のコミュニケーションが常時可能
- 国内外の記事ピックアップの閲覧
- 相談対応（照会・意見交換等）



会員申請は協会Webから。
ゲスト会員（無料）
大歓迎！



JSTA

日本セキュリティトークン協会 (JSTA)

<https://securitytoken.or.jp/>